

インフルエンザ流行に伴う対応について

1. インフルエンザの予防について

外出後の手洗い・うがいの励行、人ごみや繁華街への外出を控えること、そして十分に睡眠、休養、バランスのよい栄養を摂り、日頃から体力や抵抗力を高めておくことが大切です。

2. 通常活動時においてインフルエンザを発症した場合

- ① 急な発熱や頭痛、全身倦怠、筋肉痛など全身症状を発症した時は、他の人にうつさないようにマスクを着用して速やかに医療機関に行き、受診する。
- ② チーム内に感染が広がらないように、インフルエンザを発症した選手は、症状がはじまった日の翌日から5日目まで、また、熱が下がってから2日目まで外出しない。
- ③ チーム内で複数の選手が発症したときは、チームの所属する団体（学校や地区など）のルールに従う。

3. 大会前にインフルエンザが大量に発症し、チーム活動が極めて困難になった場合

- ① チーム責任者は、所属する団体（学校や地区など）に報告し、十分状況を判断して出場するか辞退するか決定し、大阪ミニバスケットボール連盟（以下、府ミニ連）に報告する。
- ② 相当数のチームがインフルエンザの発症で出場を辞退するような状況においては、府ミニ連の常任理事会で大会についての対応を決定する。

4. 大会中のインフルエンザ対応

- ① 大会中に体調不良などの選手があれば、大会本部に直ちに報告し、指示を仰ぐ。
- ② チームや関係者、観客に対し、インフルエンザ対策に万全を期すように手洗い・うがい・咳エチケットなどの実施を要請する。